

6 月号

# ひだまり

わかくさこども園



2022.5.31



かんぱーい

(2022.5.26)

園庭のジューンベリーの実り始め。

ゆずはのMちゃんは、赤い実を上手に探しながら、小さな手をいっぱいにしていく。

ふと、すぐ隣で自分と同じことをしている友だちに気がついた。

友だちもMちゃんに気がつくと、お互いに「これー」「これー」と言いながら、自分たちの採ったジューンベリーを見せ合う。

Mちゃんが、自分の手の中から一粒つまみ、友だちの実にゆっくりと近づけた。

「はい、かんぱーい」



## 6月の予定

【幼稚園】

15日（水）県民の日休み

1日（水）春の健康診断

6日（月）個人面談（～24日まで）

9日（木）避難訓練

23日（火）歯科検診

# なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



## 親子ふれあいday &ピクニック

新年度も2ヶ月目に入りました。連休が明けてからは汗ばむ陽気の日もあり、あっという間に季節が変わりそうです。

子どもたちはというと、最近は水遊びを先取りして、園庭で泥水遊びを楽しんでいます。水と泥を混ぜた感触が気持ちいいようで、手や足にも塗りたくり、一度始めるとなかなか終わりません。ご家庭でのお洗濯も大変かと思いますが、子どもたちが心ゆくまで遊んだ証として、ご容赦いただければ幸いです。

先日はお忙しい中、「親子ふれあいday」、「親子ピクニック」にご参加いただき、ありがとうございます。子どもたちも、いつも自分が過ごしている場所にお父さん、お母さんがいる“特別感”を思い切り楽しんでいるようでした。



当日、各クラスで企画した「保護者会」では、写真を使い、新年度に入ってからの子どもの様子をお伝えしました。ご覧いただき、感じていただいたかと思いますが、この2ヶ月にも満たない短い時間の中でも、子どもたちの成長エピソードがたくさんありました。

泣いて泣いて、全くお母さんから離れられなかった子が、少しずつ自分で気持ちを切り替えられるようになったり、給食が進まなかった子が、友だちに励まされてひと口、ふた口と食べられるようになったり、先生に見てもらいながら、靴下を一人で履こうと頑張ってみたり。

その一つひとつは小さなことに見えるかもしれませんが、新しい環境を自分の「生活の場」として受け入れることは大人でも勇気のいることです。自分の力で一步を踏み出そうとしている小さな背中をそっと押してあげられるよう、私たちも見守っていきたくと思っています。

そして、新年度のお忙しい中で、日々ご理解とご協力をいただき、子どもたちと園に伴走して下さっている保護者の皆さまにも、改めて感謝を申し上げます。



## 一緒にいる人

こども園の園庭には、なるべく四季を通じて花や実が楽しめるよう、いろいろな種類の木や草花を植えています。茂る、実る、色づく、枯れる。草木はいろいろな表情を見せてくれるので、季節の移り変わりを子どもたちに教えてくれる大切な存在でもあります。

今はちょうど、木苺とジューンベリーの時期。木に実が付き始め、色が変わっていく様子を観察しながら、実を採っておまごごとに使ったり、水の中で潰して色水を作ったりと、特に幼児の子どもたちは遊びを発展的に考え、楽しんでいるようです。

もちろん、乳児の子どもたちも日常的に草木との触れ合いを楽しんでいるのですが、小さい子たちの出会い方はもっと繊細です。そもそも、まだ出会ったことのないものが多いので当たり前かもしれませんが、気になるものを見つけると、まずは顔を近づけてみたり、指先でちょっとだけ触ってみたりします（中には最初から豪快に手を伸ばす子もいますが）。そして時々保育者の方を振り返り、ちゃんとこっちをみているかを確認し、目を丸くしたり指差したりするのです。言葉はなくても、「びっくりした気持ち」や「うれしかっ

た気持ち」を伝えようとしてくれているのが分かります。

何か心が動くことがあれば、誰かと分かち合いたくなるのが人間です。友だちと気持ちを通じ合わせたり、遊びの中で深く関わり合ったりするのはもう少し先のことかもしれませんが、冒頭ページのMちゃんの「かんぱい」は、そんな「共感したい思い」の芽生えなのかもしれません。

一緒にいると楽しい、嬉しい、落ち着く、頑張れる。もちろん、一緒にいる人は誰でもいいわけではないので、この2ヶ月で少しずつ、クラスの友だちやこども園の先生たちが、子どもたちにとっての「一緒にいる人」になりつつあることを嬉しく思っています。



自分で靴を履いてみる  
友だちと一緒に  
頑張ってみる



水たまりを踏む音を楽しむ  
友だちにつられてやってみる



お知らせ



## \* 「Instagram」始めました

先日コドモンでもお知らせしましたが、地域の子育て家庭への情報発信の一環として、Instagramを始めました。不定期更新とはなりますが、日々の園の様子や給食のメニューなどを写真とともにお届けしていますので、よろしければご覧ください。

わかくさこども園アカウント名：wakakusa\_kodomoen

## 🔍 連載コラム

こども園たんけんたい



縁側を机に、園庭で採れた実を使って模様を描く

## 第3回 「エンガワダイバーシティ」

漫画のタイトルみたいな名前ですが、造語です。今回はこども園のながーい「縁側」について、です。

最近では「ウッドデッキ」という言葉の方がなじみがあるかもしれませんが、その魅力はなんといっても内と外の中間にある空間ということ。保育室でも園庭でもないからこそ、子どもたちは多様な遊び方や楽しみ方を見つけているようです。

縁側にテーブルを置いてお絵描きや粘土をすると、いつもとは違う色づかいかや形になったり、おままごとをすると、今までになかった登場人物がでてきたり、給食を食べると、同じカレーでも美味しく感じたり。縁側という中間的環境が、子どもたちの遊びや感じ方に与える影響は、少なからずあるようです。

「子ども×縁側」で生まれる新しい可能性に、これからも目が離せなさそうです。

※ダイバーシティ (Diversity) = 多様性

## 保健だより

梅雨の季節がやってきました。天気の変わりやすいこの時期は体調を崩しやすいので、十分に注意が必要です。子どもは遊びに夢中になっていると、のどの渇きに気づきにくいいため、熱中症になりやすいです。適宜休憩をとり、細目な水分補給を心がけましょう。

### 6月4日は虫歯予防デーです



#### ○虫歯にならないために

- ・食べたらずぐに磨きましょう。  
特に寝ている間は唾液の分泌量が減るため、寝る前は念入りに磨きましょう。
- ・だらだら食いは虫歯の要因です。時間を決め、しっかり噛んで食べる習慣をつけましょう。唾液がたくさん出ることで口の中を洗い流し、虫歯を防いでくれる役割があります。
- ・1歳半位でスプーンを持つようになったら、歯ブラシを自分で持って口に入れてみましょう。
- ・自分で歯ブラシを持って磨くようになったこどもは、歯磨き中の誤嚥に注意してください。歯磨きの場所を決めたり、「ながら歯磨き」（歩きながら、遊びながら、テレビを観ながら等）をしないように約束したりして、事故を防ぎましょう。

#### ○仕上げ磨きについて

子どもが自分でしっかり磨けるようになるのは9歳くらいです。特に5歳から9歳くらいは歯の交換が活発で、虫歯もできやすいので、大人がしっかり口の中を観察してあげましょう。

仕上げ磨きをする際は、歯ブラシを歯と歯茎の間の歯周ポケットにあてがうようにし、軽い力で小刻みに磨きましょう。



看護師・藤井 佑季



#### 6月 保健の予定

21日（火）	ふじ・みそら	身体測定
22日（水）	ももはな	身体測定
24日（金）	こむぎ・ゆずは	身体測定



## 保護者会

子育てあるある、盛り上がりました



ふ  
と  
お

待ちに待った  
親子ピクニック♪



ピクニックに向けて作った  
お母さんたちへのプレゼント





こ — な —



どこまで長くできるかな？



自分たちで選んだ夏野菜を植えました  
大きくなーれ、おいしくなーれ

わかくさこども園

wakakusa kodomoen